

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第106回研究会開催案内

日時：平成28年12月7日(水) 18:30 — 20:30

場所：エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室
福岡市中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111
(エルガーラ・オフィス棟は天神 大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

テーマ：外国人技能実習生制度の仕組みと今後の展望

講師・一般財団法人国際教育協会 麻生靖二 業務執行理事・事務局長

[講師プロフィール]

昭和31年福岡県生まれ。中央大学法学部卒業後 第一生命保険相互(株)入社。平成6年参議院議員柳川覚治秘書 その間 多くの文教政策、文教行政、大学設立に関与。平成13年議員任期満了により辞職。平成13年学校法人尚美学園参与をへて 平成17年財団法人国際教育協会国際交流室長に就任、日本の伝統文化を海外に紹介する活動や、国内での外国文化の紹介などの活動を続けながら、外国人技能実習生の育成に携わる。平成22年公益法人法改正により財団法人国際教育協会は 一般財団法人として再スタート。平成23年より 業務執行理事・事務局長

(講演概要)

外国人技能実習生制度は、昭和中期頃からの日本企業の海外進出に伴い始った制度である。海外に工場を建設する企業が急増するのに伴い、工場で働く外国人作業員の教育をどうするかということが問題になった。そこで、彼らを日本の工場のラインで一定期間訓練して、その後進出先の工場に戻すということを繰り返すことで 短期間に彼らを育成することができた。当初このスタイルは大企業のみ認められていたが それを中小零細の企業に拡大適用したのが、現在の外国人技能実習生制度になっている。近年 この制度を更に整備拡大して看護、看護分野を始め様々な業種や職種への実習生の受け入れを促進しようというのが政府の動きである。講演では 外国人技能実習生制度の仕組みと今後の展望について 最新の状況、日本文化との関連を含め わかりやすく解説します。

会費：参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：九州中国研究会